

議会報告会での意見・要望等  
【分類1であり、類似のものは集約】

○人口減少（定住）対策に関すること（※①）

- ・シティプロモーションを今後どのように取り組むのか重要であると思うが、市の現状は人口が毎月 50～100 人減っており、3 月は就職や進学、転勤者も多く 350～400 人は減っている。大学の充実や地元の帝京大学への進学者等は奨学金を与えてほしい。【三川】

○子ども・子育てに関すること（※②）

- ・市の学童保育所・クラブにおいて待機児童者が全体で 89 名おり、天の原学童クラブでは 18 名が待機しているとの報道があった。地元校区としての対応にも限界があるので天の原学童クラブの定員拡充をしてほしい。【勝立】

○地域コミュニティに関すること（※③）

- ・防犯灯については、補助金を拡充してもらっている反面、維持管理には地域の負担が重く防犯灯を減らさざるを得ない地域もある。電気料金などのさらなる負担軽減に努力してほしい。【三池、労福】

上記の分類1については、その趣旨をまとめ、以下のとおり議会の総意として市長に対して取り組むよう要望しています。

その結果につきましては、このホームページ等でお知らせする予定です。

**※①人口減少（定住）対策に関することについては、地元での進学・就職を推進するためにも、奨学金制度の構築に向けて、議会報告会での意見・要望を受けて、9月定例会の質疑質問や決算特別委員会の中でも、市当局に対する意見・要望として取り上げており、議会の総意として次のように取りまとめ、市長に回答を求めることとしました。**

1. ほっと安心奨学金制度については、本市として推進する事業に掲げている中、現状において取り組みが進んでいないと思われることから、他都市の状況等を調査・検討し、本市で可能な制度の構築に向け、より一層努力されたい。

**※②子ども・子育てに関することについては、先の平成29年3月の予算特別委員会で全会派及び無所属委員全員による賛同を受けて、議会の総意として次のように取りまとめ、市長に要望しました。**

1. 学童保育の充実については、現在生じている待機児童の解消をはじめ当面の課題への対応を急ぐとともに、開所時間の延長、夏休み期間中の利用拡大など、働く保護者の支援に即応した取り組みとなるよう、より一層努められたい。

また、次期子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケートを行う際には、学童保育への潜在的な待機児童や市民ニーズを的確に把握するため、対象を未就学児や小学生全体に広げ、調査内容も十分精査を行った上で実施されたい。

また、その後、まちづくり・活性化特別委員会においても、全会派及び無所属委員全員による賛同を受けて、議会の総意として次のように取りまとめ、市長に回答を求めることとしました。

2. 学童保育所・クラブについては、地域の特性に応じて、民間の施設等地域資源も有効に活用しながら、待機児童の解消を図られたい。

また、29年度実施した2つのアンケート調査を早急に分析・検証し、さらなる充実に向け、利用時間の延長を含め、30年度予算への反映に努められたい。

**※③地域コミュニティに関することについては、防犯灯・街路灯のあり方において、議会報告会での意見・要望を受けて、検討を行う方がよいものとしており、議会の総意として次のように取りまとめ、市長に回答を求めることとしました。**

1. 防犯灯・街路灯については、補助金の拡充が行われているが、維持管理において地域の負担が重いとの地域の声もあることから、電気料金などのさらなる負担軽減に努められたい。